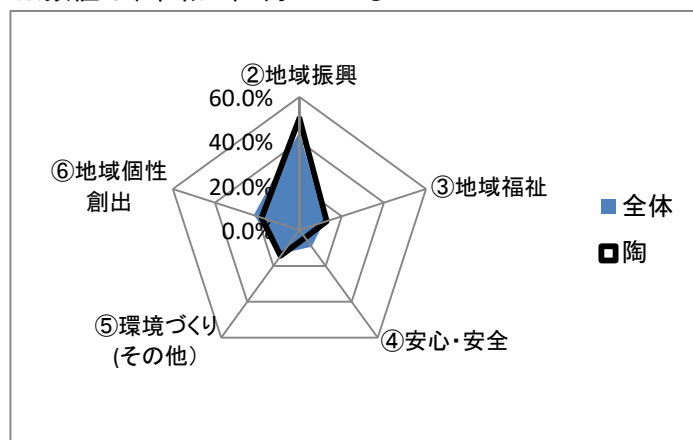


陶連合自治会 地域づくり交付金事業概要(令和6年度)

■地域の情報

地域人口	2,116人	自治会数	16
世帯数	920世帯	自治会加入率	71.1%

※数値は、令和7年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	10,188,000 円
交付金決算額	10,188,000 円
その他収入	71,070 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	4,366,350 円
②地域振興	1,254,175 円
③地域福祉	321,580 円
④安心・安全	109,288 円
⑤環境づくり(土木工事)	3,403,000 円
⑤環境づくり(その他)	358,421 円
⑥地域個性創出	446,256 円
決算総額	10,259,070 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

第4次5か年計画の2年目となる今年は、昨年試みた若者を中心とした地域内の行事内容を今年も活かしなが
ら、“笑顔でつながるふるさと陶”のキャッチフレーズのもと、様々な地域課題に積極的に取り組みます。

■総括

第4次陶地域づくり計画・陶地区福祉活動計画の2年目となり、コロナ禍の明けた昨年よりさらに、変革の年と
なった。
特に、「陶夏フェス」は、若者が何度も会議を重ね、開始時刻を昨年より2時間早め、地域の方々に長く楽しんで
頂くことができた。
また、「陶ふれあいまつり」は、まつりを盛り上げるために、オリジナルの提灯を100個作成し、会場の一体感が醸
成された。陶中央部を清掃する年3回の「陶クリーン作戦」も、参加者の高齢化が進む中、地元企業や他国の研
修生の参加を頂き、スムーズな清掃活動ができた。
今後も、イベントについては、若者を中心にいろいろな意見を取り入れ、また「陶クリーン作戦」のように、高齢化
が通になる行事については、安全に作業できるよう、作業内容の見直しを進めていく。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局の運営体制
② 地域振興	人材発掘、人材育成、広報活動の推進、ふれあい行事の見直し、活動グループの育成
③ 地域福祉	子育て支援の推進、小規模福祉の輪づくり、三世代交流の推進、地域福祉講座の開催、 高齢者のサポート、交通弱者支援事業、健康管理活動・保健講座
④ 安心・安全	反射鏡設置・修復、空き家・空地の利活用、自主防災活動の推進、要援護者の支援、交 通マナーアップinSUE
⑤ 環境づくり	土木工事：法定外公共物、陶クリーン作戦(道路環境美化)
⑥ 地域個性創出	再発見「素晴らしい陶」、陶ふるさと大学(史楽会)、文化財保護活動、陶ブランドの立ち上 げ、地元文化育成、コミュニティ・スクールの支援

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	運動会・ふれあいまつり	決算額	357,159円
	目的	笑顔でつながるまち 陶の実現		
	実施内容	①陶地区民運動会 ・昨年度同様、競技を午前中に縮小して実施し、一部競技内容を変更。 ②陶ふれあいまつり ・秋吉台サファリランドより、小動物を誘致し、動物とのふれあいに大人も子供も楽しんだ。 ・まつりを盛り上げるために、オリジナルの提灯を100個作成し、会場の一体感が醸成された。		
	実施時期	①4月 ②11月		
	参加人数	①500人 ②1500人		
	成果	運動会は、時間短縮や新競技の導入で、より参加しやすくなった。ふれあいまつりは、若者の運営参加・発想で参加者も増え、イベントが盛り上がり非常に成果があった。		
	評価	「陶地区民運動会」は、時間短縮が高評価であった。「陶ふれあいまつり」は、若者を中心とした「陶のこれから部会」が各種イベントを企画することで、盛大に実施できた。		
②	今後に向けて	次年度の開催に向けた各種会議において反省点を洗い出し、今後より良い行事になるよう努めていく。		
	事業名	ふれあいウォーキング	決算額	9,377円
	目的	地区民の体力維持・向上		
	実施内容	地域内に約5kmの史跡巡りで体力の向上を図った。		
	実施時期	11月		
	参加人数	35名		
	成果	史跡巡りは、昨年より若干参加者が増えた。		
③	評価	史跡巡りは、距離的に丁度よく体力向上に繋がった。		
	今後に向けて	今後も参加しやすい様に工夫し継続していく。		
	事業名	陶クリーン作戦(道路環境美化)	決算額	358,421円
	目的	陶中央部の国道、県道、市道周辺や通学路の道路環境美化		
	実施内容	地区内の国道、県道周辺や通学路の環境美化、中央公園の清掃を実施した。		
	実施時期	7月、11月、2月		
	参加人数	501人		
	成果	今年度、ブロワーとチェンソーを1台追加し、短時間で作業できるようになった。		
	評価	草刈り機で対応できない所を、チェンソーで安全かつ楽に作業できるようになった。		
	今後に向けて	年々高齢化が進むため、安全かつ楽に作業できるよう、機械化を進める。		

④	事業名	文化財保護活動	決算額	10,775円
	目的	文化財の保護活動を実施し、多くの方に陶の見聞を広めてもらう。		
	実施内容	陶陶窯跡周辺の清掃を地区の子供たちと文教部会で実施した。		
	実施時期	1月		
	参加人数	24名(子供8名、大人16名)		
	成果	国指定の陶陶窯跡周辺を、地区の子供たちと一緒に清掃活動することにより、陶陶窯跡の歴史について大人と子供で共有できた。		
	評価	やまぐち21元気ミーティングで、陶陶窯跡の風化防止を取り上げた関係で、覆屋の改修や階段周辺の整備が施しており、清掃が容易であった。		
	今後に向けて	異常気象が多発する昨今、維持管理が難しくなっているが、劣化が進まないよう努めていく。		
⑤	事業名	夏フェス	決算額	100,000円
	目的	帰りたくなるまち 陶の実現		
	実施内容	若者が中心となり企画・運営を行い多くの来場者がイベントを実施した。		
	実施時期	8月		
	参加人数	500人		
	成果	若者の発想で参加者も増え、イベントが盛り上がり非常に成果があった。 開始時間を2時間早めることで、地域の方々に長く楽しんでもらうことができた。		
	評価	地区内外からの多くの来場者で賑わった。		
	今後に向けて	今回のイベントの反省会を設け、今後より良い行事になるよう努める。		